



2025年8月5日



昭和100年・戦後80年

鉄道博物館から見た昭和の世界

1926年～1945年の鉄道に関する貴重資料を特別展示します

- 今年、昭和元年の1926年から数えて100年目、そして第二次世界大戦が終結した1945年から80年にあたる年です。
- これにちなみ、当館では昭和元年から昭和20年に作成された鉄道に関する文書や乗車券等を期間限定で特別展示します。
- 資料保存のため今後展示することが極めて少ないと思われる貴重な資料も今回特別に公開します。ぜひこの機会にご覧ください。

1 展示期間 2025(令和7)年8月9日(土)～8月22日(金)

2 展示場所 南館3階 歴史ステーション 中央時計ひろば

3 展示内容 ●昭和の改元に関する鉄道資料

大正から昭和への改元時に発行された路線図や鉄道公報のほか、昭和の大礼に際して発行された記念乗車券などを展示します

* 鉄道公報は実物を展示します

●終戦前後に関する資料

「鉄道は兵器」と呼ばれていた時代、変化する駅弁のかけ紙や

1945年8月15日(終戦の日)も鉄道は動き続けていたことを示す

貴重なダイヤグラムなどを展示します

●初代・鉄道博物館に関する資料

現在の鉄道博物館の前身である、大正10年に東京駅北側高架下に開業した初代・鉄道博物館やその後昭和11年に万世橋に移転した

鉄道博物館(のちの交通博物館)を紹介します

主な展示資料の一部

南館3階 歴史ステーション 中央時計ひろば



▲初代鉄道博物館資料



▲1945(昭和20)年8月15日
終戦の日の整理ダイヤ(東北本線)

